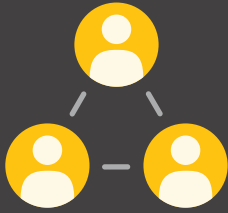


タイミーのQAは以下の4つを軸にして構築中!



チームトポロジーに適應するQA

“顧客に価値をすばやく届ける適應型組織”となるチームトポロジーの考えを採用したスクラムにおいては、チームメンバー全員が品質に責任を持ちビジネス分析やQA活動(テストを含む)などの他の専門分野もチームに統合されます。

そのためQAは、デプロイのゲートウェイになるのではなく、スクラムチーム全員が自律的にQA活動ができるように支援するイネイブリングチームとして活動します。



システム信頼性の担保につながるQA

タイミーは働き手と店舗がマッチングする機能だけでなく、出退勤や報酬管理など高い信頼性が求められるシステムです。

そのため常に正常に動作していることを確認するE2E自動リグレッションテストの推進や、取引明細の信頼性を確保するためにリコンサイルというリスク管理手法の拡充を行います。



システム運用プロセスの品質を改善するQA

はたらくための社会インフラを目指すタイミーでは、インシデントの発生をできる限り少なくし、発生しても短期間で復旧させる必要があります。

単なるインシデントの防止だけでなく、サービス復旧時間の短縮に役立つメトリクスを導入し、学びと改善を推進します。



Factで品質を語り合えるQA

システムの品質管理は健康診断と同様と考え、客観的な数値を用いて語り合える仕組みを構築します。

数値化の対象はシステムに留まらず、システム開発・運用を担っている組織の品質も考慮し、プロセス面からの品質改善にも取り組める仕組みを目指します。